

文科省の磯谷桂介研究振興局長、Kavli IPMU を視察

2018年2月28日、文部科学省研究振興局の磯谷桂介局長と随員の伊藤有佳子基礎研究振興課基礎研究推進室専門職、福永完治振興企画課係員、加藤久乃基礎研究振興課係員、中澤龍一参事官（情報担当）行政調査員が、Kavli IPMUを訪れ、村山機構長から概要と研究内容の説明を受けた後、研究棟内とティータイムを視察しました。磯谷局長は、ティータイムで天文、物理、数学の各分野の若手研究者多数と歓談され、大いに盛り上がりました。



研究者と歓談中の磯谷局長（右）。本誌31ページ、Director's Cornerの写真もご覧ください。

「JAXA-Kavli IPMU/東京大学硬X線・ガンマ線イメージング連携拠点」本格始動

昨年10月に Kavli IPMU は宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS/JAXA）と新たな共同研究、特に宇宙衛星プロジェクトで培われた硬X線・ガンマ線イメージングの技術を発展させることで合意しました。具体的には、Kavli IPMUに連携拠点を置き、慶応義塾大学医学部や東京大学薬学部等の協力のもと、この技術の核医学、特にがん研究への加速度的応用を図るこ

とで、極めて高い分解能と正確な定量性をもって、これまで困難だった「がん幹細胞」の生体内での可視化が可能になる等、がん根治に向けた研究に発展をもたらすと期待されています。

このたび、連携拠点の主要メンバーが揃うことに伴い、2018年3月26日に Kavli IPMUは宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS/JAXA）と共同で、東京大学本郷キャンパスの伊藤国際学術研究センターにおいて、「基礎科学は役に立つ『JAXA-Kavli IPMU/東京大学 硬X線・ガンマ線イメージング連携拠点』本格始動」と題して、記者会見を実施しました。Kavli IPMUの村山 斉機構長とISASの常田佐久所長の挨拶の後、慶應義塾大学医学部教授で慶應義塾大学病院副院長でもある佐谷秀行さんが今回の研究のメインターゲットとなるがん幹細胞について「がん幹細胞とは?」と題して説明、続いて拠点の全体統括者である東京大学執行役員学長で Kavli IPMU 主任研究員の相原博昭さんが「JAXA-Kavli IPMU/東京大学硬X線・ガンマ線イメージング連携拠点」と題し、拠点の概要について説明しました。その後、質疑応答、登壇した4名のフォトセッション、記者によるぶら下がり取材が行われ、熱心に質問を投げかける記者の姿が見られました。（31ページの写真参照。）

第3回Kavli IPMU / ELSI合同一般講演会「起源への問い」開催

2018年1月21日に東京工業大学の蔵前ホールで Kavli IPMU と東京工業

大学地球生命研究所(ELSI)の第3回合同一般講演会「起源への問い」が開催されました。この講演会は、WPI 採択拠点のうち「宇宙の起源に迫る」ことを目的とする Kavli IPMU と「地球と生命の起源に迫る」ことを目的とする ELSI が、人類にとって根源的な「起源への問い」という共通テーマのもと、最新の研究内容を平易に紹介するとともに、他分野の専門家も交えた多様な視点を提供するイベントとして実施されてきました。過去2回は Kavli IPMU と ELSI の研究者に哲学者を交えての講演会でしたが、今回は芸術学を専門とする研究者を交えての講演会として開催し、約300名が来場しました。

講演会はWPIの宇川彰PD（プログラムディレクター）の挨拶で始まり、名古屋大学大学院理学研究科研究科長で Kavli IPMU 主任研究員を兼ねる杉山直さんが「宇宙の始まりに迫る」、ELSI 副所長の井田茂さんが「地球外生命～地球中心主義からの解放～系外惑星、氷衛星～」、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授の伊藤亜紗さんが「かたちが生まれるとき～芸術学から考えるリズムと身体～」と題してそ



講演する杉山 直さん。

れぞれ講演しました。その後、講師3名による鼎談「起源を問うとはどういうことか」、さらに講師を囲んでの懇談会があり、盛況のうちに閉会となりました。

第6回 WPI サイエンスシンポジウム『『未来』をはじめ』開催

2018年2月11日、日本科学未来館において第6回世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI) サイエンスシンポジウム『『未来』をはじめ』一科学にはきつと、もっと、できることがある』が開催され、約800名が来場しました。「WPIサイエンスシンポジウム」とは、次世代を担う高校生を主な対象に最先端の科学とその魅力を伝えるために毎年行われてきたイベント、「WPI合同シンポジウム」が今年度より改称されたものです。今年は筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 (IIIS) が運営を担当しました。日本科学未来館を会場としたことから、高校生のみならず広く家族連れを含む一般に対象を広げたシンポジウムとなりました。このため、研究者による対談、講演に加え、科学雑誌 Nature やベンチャー企業の関係者も交えた日本の科学の未来をテーマにしたパネルディス



吉田直紀さん (右から2人目) と廣瀬 敬さん (右端)



ブース展示の様子

カッション、科学をネタとするお笑い芸人の黒ラブ教授によるお笑いライブ等、多様なプログラムが組まれました。

Kavli IPMUからは主任研究員の吉田直紀さんが、東京工業大学地球生命研究所 (ELSI) 所長の廣瀬 敬さんとの宇宙と地球の魅力を紹介するスペシャル対談を行いました。その他、Kavli IPMUはWPIの他の10拠点と合同でブース展示を行い、1分での機構紹介プレゼンテーションにも参加して来場者の方に機構を紹介しました。

アメリカ科学振興協会 (AAAS) 年次大会に参加

2018年2月15日から19日まで、テキサス州オースティンのオースティン・コンベンションセンターで開催されたアメリカ科学振興協会 (AAAS) 年次大会において、文部科学省と日本科学振興会およびKavli IPMUを含むWPI拠点が2月16日から18日の3日間、WPI事業の国際的認知度及び研究者にWPI拠点を自らの研究場所として認知してもらうための知名度向上を目指して、合同でブース展示を行いました。WPIブースには3日間で研究者、ジャ

ーナリスト、大学生等を含む約400名が訪れました。今回のAAASには、AAASで行われる各種イベントの視察も兼ねて、WPIの宇川彰PD (プログラムディレクター) とWPIの黒木登志夫AD (アカデミーディレクター) も参加しました。



WPIブースでJSPSとWPI拠点からの参加者の集合写真。(写真提供: 日本科学振興会)

第1回Kavli IPMUアーティスト・イン・レジデンスプログラム参加作家展を開催

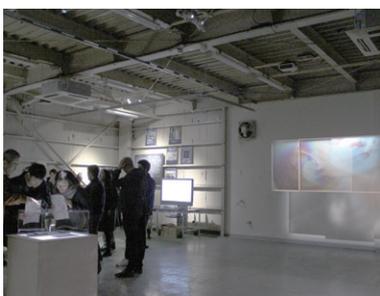
2018年3月9日から25日まで、東京都大田区にある元倉庫のギャラリー、カマタ_ソーコで、Kavli IPMU主催の「再」邂逅する科学と美術の試み、2018東京一第1回Kavli IPMUアーティスト・イン・レジデンスプログラム参加作家展」を開催しました。この展覧会は、Kavli IPMUで2015年度より実施してきたアーティスト・イン・レジデンス (AIR) の取組みの成果を作品展示を通して紹介すると同時に、科学と美術の交流による新たな文化の創造とKavli IPMUの広報を目的として、広く専門家も含む一般の方を対象に開催したものです。AIRに参加した3名の作家、絵画の野村康生さん (2015年度参加)、メディアアートの平川紀道さ

ん（2016年度参加）、彫刻の春山憲太郎さん（2017年度参加）の新作展示、Kavli IPMU の紹介展示の他、科学文化論、美術批評、論理学、美学、神経科学、ギャラリーオーナーを含む多様な専門家を招いてAIRプログラムを検討するイベントや、Kavli IPMUの数学者によるサイエンスカフェ等、各種関連イベントを実施し、16日間で382名が参加しました。Kavli IPMUの関係者が参加した関連イベントのプログラムは次の通りです。

3月17日にKavli IPMU 准教授の阿部知行さんが「数学って何をしていますか？ 一聞いてみよう！ 数学者とのダイアログ」と題し、3月18日には名古屋大学大学院多元数理科学研究科准教授を兼ねるKavli IPMU 教授の伊藤由佳理さんが「不思議なマックイ対応」と題し、また3月21日にはKavli IPMU 博士研究員のWill Donovanさんが「シャボン玉と時空」と題し、それぞれ講演しました。3月10日のシンポジウム「科学論と美術論から考える基礎×科学×美術」では、Kavli IPMU 博士研究員の池田暁志さんと砂山朋美さんがAIRに参加した3名の作家、および各分野の専門家と共に登壇しました。また、3月11日には多摩六都科学館において本展示会の関連イベントであるワークショップ「真×善×美から考える科学の基底と美術の基底」が開催され、Kavli IPMU 准教授の山崎雅人さんが登壇し、3名の作家および論理学と美学の専門家とともにKavli IPMUのAIRについて検討し、さらに会場の参加者との意見交換を行うなどしました。



左から右へメディアアートの平川紀道さん（2016年度参加）、野村康生さん（2015年度参加）、彫刻の春山憲太郎さん（2017年度参加）。

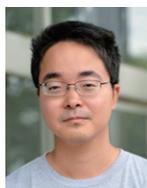


展示の様子。

人事異動

昇任

Kavli IPMU 助教の山崎雅人さんが2018年2月1日付けでKavli IPMU 准教授に昇任されました。



山崎雅人さん

Kavli IPMU 助教のSurhud Moreさんが2018年3月1日付けでKavli IPMU 准教授に昇任されました。



Surhud Moreさん

退任

福来正孝さんが、2018年3月31日付けでKavli IPMU 教授を退任し、4月1日からKavli IPMU 上級科学的研究員となります。福来さんはIPMUが発足した2007年10月1日から2012年3月31日まで主任研究員、2012年4月1日からはKavli IPMU 教授を勤められました。

転出

次の方々が転出しました。[括弧内はKavli IPMU在任期間です。]

Feng Luo (罗峰)さん [2015年11月1日 - 2018年3月15日]、Kavli IPMU 博士研究員から中国の中山大学准教授へ。

米倉和也さん [2015年8月1日 - 2018年3月31日]、Kavli IPMU 博士研究員から九州大学基幹教育院助教へ。

Hirary Childさん [2017年9月2日 - 2018年2月27日]、東京大学特別研究員（日本学術振興会外国人特別研究員）からシカゴ大学天文学・天体物理学部博士課程へ復帰。

向田享平さん [2015年4月1日 - 2018年3月31日]、東京大学特別研究員（日本学術振興会特別研究員）からDESY 博士研究員へ。

大内元気さん [2017年4月1日 - 2018年3月31日]、東京大学特別研究員（日本学術振興会特別研究員）から理化学研究所基礎科学特別研究員へ。

また、齋藤翔さん [2015年4月1日 - 2018年3月31日] が任期満了でKavli IPMU 博士研究員を退職しました。